別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【西郡まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇取り組み①：情報発信・地域情報誌「はな緒」の発行

・まちライブラリーで交流サロンを開催し、情報発信も行うことは非常に良い取り組みだと思います。さらに踏み込んで、交流を通じたまち協の活動への参加促進につながる仕組みや工夫についてご検討ください。

〇取り組み②：ふれあい朝市

・買い物支援としては年７回という実施回数からさらなる充実の余地があると考えられますが、地域住民が集まるコミュニティの場としての意義は大きい取り組みだと考えられます。買い物支援として、今後どのように発展させていくのかについてご検討ください。

〇取り組み③：グラウンド・ゴルフで世代間交流事業

・多世代の交流につながる取り組みだと思います。この取り組みをきっかけに、子育て世代の参加を促進する工夫についてご検討ください。

〇取り組み④：災害有事における避難のあり方検討

・ワークショップの成果を、広く校区住民に共有できるような工夫についてご検討ください。

〇取り組み⑤：西郡のまちづくりを総合的に進めるためのコーディネート事業

・次年度以降、全体の実施回数や具体的な内容等の詳細を申請書に記載することについてご検討ください。また、コーディネーターへの依頼業務について、前年との違いなども含めた効果検証の実施についてご検討ください。長年地域に関わられているメリットもありますが、一方で新たな視点や関わりを増やす観点から、多様なアドバイスをもらえる仕組みについてもご検討ください。

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

＜全体を通して＞

〇コーディネーターも入っているということで、各取り組みが無理なく効果的に行われていると

別紙

感じました。これらの取り組みが、コーディネーターが入ることによって、毎年どのようにブラッシュアップされているのか、整理することをご検討ください。また、「はな緒」で情報発信されてはいますが、各イベントで他のイベントを周知したり、担い手やお手伝いなどを募れるようになると良いのではないかと思います。まちライブラリーやふれあい朝市など、住民と直接触れ合い、意見交換ができる良い機会を今後の活動に活かしてください。

〇情報発信、買い物支援、世代間交流、防災など、西郡地域が抱える課題に対して具体的な事業が計画されていると感じました。特に「ふれあい朝市」は、高齢者等の買い物支援という課題解決だけでなく、大学や地域団体、事業者等が関わることで、新たな交流や地域参加を生み出す場としても期待できます。また、「はな緒」の発行に加えて、まちライブラリーという対面の交流機会を設けていることも西郡の取り組みの良さだと思います。

今後は、こうした日常的な接点を「参加する人」から「地域を一緒につくる人」へつなげる視点をさらに意識してみてはいかがでしょうか。朝市で短時間のボランティアや出店・企画を募集するなど、小さく関われる役割を増やすことで、新しい担い手との出会いにもつながると思います。グラウンド・ゴルフでの小学生との交流についても、子どもだけでなく保護者を含め、その後の地域参加につながる仕掛けを検討できると良いと思います。

〇専門コーディネーターによる支援については、長年関わられているという方に加えて、新たな視点や方法を取り入れ実験していくという点で、別の方へもご相談やアドバイス提案をもらうことも検討してみてはいかがでしょうか。

事業を増やすというより、はな緒・まちライブラリー・朝市・学校連携など、すでにある地域との接点をつなぎ、「知る→参加する→少し手伝う→一緒につくる」という流れを育てていくことが、西郡の今後のまちづくりにつながるのではないかと思います。